

「信頼性向上のための HALT 試験の基礎とその活用方法」

セミナーのご案内

☆概要

- ・製品に内在する欠陥、故障、弱点を迅速に露呈させる試験として採用が広がる HALT 試験
- ・世界各国で普及する HALT 試験を理解し、製品の更なる信頼性向上を実現するためのセミナー

☆日時

平成 23 年 12 月 15 日（木） 10 : 00 ～ 17 : 20

☆受講対象者

- ・業界や製品を問わず、電子機器の開発者・設計者・信頼性／品質保証に携わる技術者、研究者の方々

☆予備知識

- ・特になし

☆修得知識

- ・ HALT 試験方法を理解し活用方法を習得できる
- ・ HALT 試験装置の動作原理を習得できる
- ・ HALT 試験装置と複合環境試験装置の用途の違いを習得できる
- ・ HALT 試験を要求された場合の対処方法を習得できる
- ・ HALT 試験による EMS の品質管理方法を習得できる
- ・ HALT 試験の活用事例の情報を習得できる

☆講演講師

株式会社 東陽テクニカ HALT 技術センター

センター長 川上 雅司 氏

楠本化成株式会社エタック事業部 信頼性クリニック

部長 小林 吉一 氏

☆講師の言葉

株式会社 東陽テクニカ HALT 技術センター センター長 川上 雅司 氏

近年、様々な業界で製品のリコール問題が起きています。各企業が信頼性試験や出荷検査を実施しているにも関わらず、企業は何故に市場での不具合を未然に防止できないのでしょうか？確かに、各企業は規格試験による合否判定試験の合格品を出荷しています。なのに市場で不具合が発生するということは、従来の試験方法そのものに限界がきている（試験方法が不十分）と考えられませんか？つまり、規格試験は必要条件であり十分条件にはなっていないと考えられませんか？

エレクトロニクス技術の進化は目覚しく、新製品は短期間に開発され、より高実装化による小型化と高速化をしていますが、従来実施している試験の手法は「正常動作の確認」が主流であり、「自社製品がどのように壊れるか」（壊れ方解析）を実施している企業は多くありません。

HALT 試験は、1980 年代に米国で生まれた電子機器の信頼性向上のための新しい試験方法です。

HALT は Highly Accelerated Life Test の略で高加速寿命試験と和訳されるが寿命試験ではない。

HALT 試験は、工業製品に急峻な温度ストレスと 6 自由度ランダム振動を与えながら工業製品を通電稼働状態で機能試験を行い、製品に内在する欠陥、故障、弱点を迅速に露呈させる試験です。

DVT（設計評価試験）の手戻り回数を減して開発期間を短縮させ市場での故障率を低減させる効果的な試験です。既に一般化している欧米・アジア諸国の取引先から要求された HALT 試験に対応できずに日本企業が失注する事態が起きています。

本講演では、HALT の起源（歴史）から最新の状況（世界及びアジア・日本）を解説しつつ、HALT 試験が従来の試験方法とは全く異なる画期的な試験であることを理解できます。

☆プログラム

挨拶 10：00～10：05

講演 10：05～14：15

株式会社東陽テクニカ HALT 技術センター

センター長 川上 雅司 氏

10：05～12：00

講演内容 ※内容につきましては変更する場合がございます。

(1) HALT/HASS とは？

1. HALT/HASS の概念・起源と変遷
2. HALT の用途・目的・効果

(2) HALT/HASS 試験装置と試験方法

1. HALT/HASS 試験装置
2. HALT 試験の手順
3. マージン発見過程

(3) 世界の普及状況

1. 欧米での普及状況（活用事例）
2. アジアでの普及状況（活用事例）
3. 日本での普及状況（活用事例）

(4) HALT 試験の具体例

1. 写真による事例紹介
2. ビデオクリップによる事例紹介
3. 米国 AT&T での活用例

(5) 製品のライフサイクルと HALT/HASS

(6) HALT 試験サービスの国内事例

1. SSD の温度サイクル試験の事例紹介

(7) エアーハンマー（6 自由度振動テーブル用）の体験

(8) 質疑応答

昼 食

12：00～12：45

楠本化成株式会社エタック事業部 信頼性クリニック

部長 小林 吉一 氏

12:45~14:15

休憩

14:15~14:20

実演、館内見学、質疑応答

14:20~17:20

☆会場

社会システム実証センター 3F セミナー室

〒819-1122 福岡県糸島市東 1963-4

※詳細は別紙参照、HP (<http://jiss.ist.or.jp>) にも掲載しております。

☆定員

60名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

☆受講料 (税込)

15,000円 (昼食代含む)

☆申込方法

申込用紙に記入の上、E-Mailにてお申込をお願いいたします。

申込用紙提出後、受付確認証を発行いたします。

受付確認証がお手元に届きましたら、5日以内に下記振込口座にお振込みをお願いいたします。

お振込確認後、参加証を発行いたします。

お振込みが確認できない場合は無効とさせていただきますのでご注意ください

☆申込送付先

社会システム実証センター セミナー担当者 宛

E-Mail : admin@jiss.ist.or.jp or FAX : 092-331-8515

☆申込締切

11月30日(水) 17:00まで

☆振込口座

振込先 福岡銀行 県庁内支店

普通 No. 1145297

口座名義 財団法人福岡県産業・科学技術振興財団

※お振込みいただきました受講料につきましては払戻しができませんのでご了承ください。

☆当日受付

必ず参加証をご持参ください。

領収書の必要な方は当日、受付にてお渡しいたします。

<事業者>

財団法人福岡県産業・科学技術振興財団 社会システム実証センター セミナー担当

〒819-1122 福岡県糸島市東 1963-4

TEL : 092-331-8510

FAX : 092-331-8515

E-Mail : admin@jiss.ist.or.jp

HP : <http://jiss@ist.or.jp>